

令和6年度の評議会行われる

令和6年6月8日（土）、令和6年度の新潟大学教育学部同窓会・評議会が行われました。

県内各地より支部長、学科代表の皆様に参加いただきました。また、来賓として柳沼宏寿教育学部長様、高木幸子教育実践学研究科長様にもご臨席を賜りました。

本年度は、新潟大学創立75周年の記念すべき年であります。

柳沼教育学部長様からは教育学部の現状について詳しく紹介していただきました。未来を担う子どもたちを育て、支援できる教員養成の大切さについてお話ししていただきました。そして、主体性や判断力を培うためには、子どもたちと一緒に解決していく教師の姿勢が大事であるというお話もしていただきました。



高木研究科長様からは教職大学院の現状について紹介していただきました。120人の院生が、自分の課題や勤務先の学校の課題解決のために一生懸命に取り組んで学んでいること、授業と実践を通して今ある力を更に伸ばしていることを紹介していただきました。

大変お忙しい中ご臨席を賜り、本当にありがとうございました。

続いて、教育実践学研究科生への奨学金授与を行いました。本年度、5人の院生に奨学金を贈呈し、その後、お一人ずつからご自分の研究内容について概略を紹介していただきました。奨学金は、1年目の研究実績をもとにして研究科長様から推薦していただき、本部会の承認のもと毎年評議会の際に授与しています。本年度の奨学生と研究内容については、ホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。



評議会では、会長の活動の重点の提案のもと、昨年度の事業・活動のまとめと本年度の具体的な活動計画について審議しました。

具体的な内容につきましては、機関誌「教育新報」ならびにホームページをご覧ください。



評議会後には支部長会、学科代表者会を実施し、現状と課題について協議しました。支部組織が希薄になっている現状から、どうしたら活性化できるか、学科の集まりをもっと多くするにはどうしたらよいかなどが話し合われました。

支部の集まり、学科の集まりを積極的にお願いいたします。

さて、本年度は新潟大学創立75周年、そして、令和7年度は全学同窓会創立20周年、令和9年には教育学部同窓会創立75周年を迎えます。教育学部同窓会でも特設委員会を組織して全学ならびに教育学部の周年事業の成功に向けて計画そして準備を進めているところです。支部長、学科代表の皆様にも積極的に会員に呼び掛けていただき、有意義な周年事業にしていきたいと思っております。また、会員の皆様にもご案内しますので、ご理解ご協力、そして奮って参加してくださいようお願いいたします。

本年度も教育学部同窓会の活動を粛々と進めて参りたいと考えております。持続的で充実した運営と各種事業の推進のために、会員の皆様からの更なるご支援とご協力、そしてご参加のほどよろしくお願い申し上げます。